



主な内容

5月臨時会の概要	2ページ
6月定例会の概要	2・3ページ
一般質問の概要	4~7ページ
議案等の各議員表決	7・8ページ
常任委員会審査報告	9・10ページ
特別委員会報告	10・11ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひ閲覧してください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

5月 臨時会の概要

令和2年5月1日第418回臨時市議会が開催されました。

今回の臨時会では、新型コロナウイルス感染症対策として議案第27号 令和2年度大野市一般会計補正予算(第2号)案と議員が提出した市会案1件について審議しました。

審議結果は7ページのとおりでです。

一般会計予算に
33億7273万円
を追加

令和2年度一般会計補正予算(第2号)として、33億7273万円を追加しました。

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を受け、家計への支援を行うため、市民1人当たり10万円を給付する特別定額給付金と、児童手当を受給する世帯に対し、対象児童1人当たり1万円を給付する子育て世帯への臨時特別給付金を給付するために必要な経費を計上した補正予算となっています。

主な補正の内容は、下表のとおりです。

補正額	主な内容
☆ 32億8606万9千円	特別定額給付金給付事業 1人当たり10万円を給付するもの
☆ 3865万円	子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 (対象児童1人当たり1万円)
☆ 2201万1千円	子どもに笑顔を届けるテイクアウトチケット事業 (対象児童1人当たり5,000円)
☆ 2600万円	福井県中小企業休業等要請協力金負担金

市会案第1号 議案第27号 令和2年度大野市一般会計補正予算(第2号)に対する決議 を可決

臨時会において、市会案(議員が提出する議案)を提出し、新型コロナウイルス感染症対策に係る予算である議案第27号に関し、理事者に対して、速やかな執行と万全の態勢で取り組むことを求めました。大野市議会としては、4月8日に提出した要望書において、市の対策に「全面的に協力」することについて機関意思の決定を示しております。この難局に理事者と一体となって取り組むことを決議しました。

6月 定例会の概要

第419回定例市議会は、6月1日から18日までの18日間の会期で開催されました。

今回の定例会では、令和2年度の一般会計補正予算案、条例の改正、物品売買契約の締結、専決処分承認、人事案件など、全20議案のほか、陳情2件、議員提出の市会案1件について審議しました。

審議結果は、8ページのとおりでです。

一般会計予算に
1億1456万5千円
を追加

令和2年度一般会計補正予算(第4号)として、1億1456万5千円を追加し、補正後の総額は217億6048万6千円になりました。

前年度6月補正後と比較すると17・7%の増です。

国民健康保険事業特別会計補正予算の概要

国民健康保険事業特別会計では、新型コロナウイルス感染症関連連傷病手当金として88万5千円が増額されました。

補正額	主な内容
☆ 250万円	自治会が行うコミュニティ活動に必要な備品購入に対する補助(花山区、東中野区)
☆ 341万2千円	市内の児童館4館の遊戯室に冷風機を整備する経費
☆ 163万円	令和2年度新学習指導要領に対応した指導書等の購入費
☆ 520万7千円	サトイモの疫病を予防するための防除作業に係る経費に対する補助
☆ 833万4千円	儲かる農業経営の実現のために集落営農組織等が行う農業用機械等の整備に対する補助
☆ 6100万円	道路(小矢戸県道赤根橋線)の拡幅工事費の増額
☆ 1000万円	泉町の橋りょうの補修工事費の増額

その他の 主な議案

第六次大野市総合計画

基本構想

第六次大野市総合計画は、まちづくりの目標と方向を示した大野市の最上位計画で、期間は、令和3年度から12年度までの10年間で、

基本構想は大野市民憲章と大野市教育理念を恒久的なまちづくり、人づくりの理念としながらSDGSの考えを取り入れ、10年後のまちの将来像を「人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち」と定めています。

将来像の実現のための基本目標を「こども」「健康福祉」「地域経済」「くらし環境」「地域づくり」「行政経営」の6分野ごとに設定し、取り組むべき方向性を定めています。

大野市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正

大野市子ども医療費の助成に関する条例では、

対象年齢を拡充し、一部負担金が撤廃されました。

また、大野市母子家庭等医療費の助成に関する条例及び大野市重度障害者医療費の助成に関する条例では、窓口無料の対象年齢が引き上げられました。

高規格救急自動車及び

消防ポンプ自動車の物品

高規格救急自動車1台及び消防ポンプ自動車(CD-I型)1台並びに装備品、積載品及び機装(きそう)一式を購入する物品売買契約を認めました。

専決処分の承認

次の6議案を承認しました。

- ① 令和元年度大野市一般会計補正予算(第5号)
- ② 令和2年度大野市一般会計補正予算(第1号)
- ③ 令和2年度大野市一般会計補正予算(第3号)
- ④ 大野市長等の給与に関する条例及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑤ 大野市税賦課徴収条例

等の一部を改正する条例

⑥ 大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

①～③の概要は下記のとおりです。

人事案件

教育委員会委員の任命について

新たに、松田輝治氏(上野)を任命することに同意しました。

陳情

特急「サンダーバード」

「しらさぎ」の存続のための協議を県に求める陳情

○陳情者 北陸新幹福井延伸と在来線を考える会代表 松原信也さん
不採択となりました。

大野地区内の行政区の見直しに関する陳情

○陳情者 大野地区区長 会会長 南部和男さん
採択されました。

専決処分された予算の概要について

- ① 令和元年度一般会計補正予算(第5号)
557万1千円を追加。
 - ② 令和2年度一般会計補正予算(第1号)
2712万7千円を追加。
 - ③ 令和2年度一般会計補正予算(第3号)
4億7706万4千円を追加。
- ①～③とも新型コロナウイルス感染症対策に関連した事業が多く、主な補正の内容は下表のとおりです。



	補正額	主な内容
①	☆ 528万円	新型コロナウイルス感染症予防のためのマスク購入経費
②	☆ 500万円	新型コロナウイルス感染症対策物品の購入経費
	☆ 1100万円	新型コロナウイルス感染症対策分の経営安定資金の利子補給期間の延長と融資枠を拡充する経費
③	☆ 1000万円	新型コロナウイルス感染症対策としての予備費の増額
	☆ 1億502万6千円	0歳から中学校3年生までの子ども1人当たり3万円を支給する経費
	☆ 1億2740万2千円	1世帯当たり1万円の地域振興券を配布する経費
	☆ 9019万2千円	市内中小企業等への事業継続を支援する経費
	☆ 1億610万7千円	小中学校の児童・生徒1人1台のタブレット端末を整備する経費

各指定管理者に感染症対策に伴う 休業補償を



日本共産党大野市議員団
のむら まさと
野村 勝人 議員



支払いについて検討していきたい。

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、書き入れ時に、不要不急の外出自粛や県を越えての移動自粛、休業要請により、道の駅九頭竜や平成大野屋に出していた生産物の販売、また前坂キャンプ場など、例年と比較して大幅な減収になっているが、従業員の生活が懸かっているから給料は持ち出しして支払っていると聞いている。現時点では、フレアール和泉や平成の湯なども再開していない。まだまだ回復の見込みもない。早急で前向きな休業補償を求める。

答 4月、5月にどのような影響があったか調査している。不可抗力の損害であれば今後の支払いについて検討していきたい。

問 現在、福井まで行か



ないとPCR検査ができない、検査に時間がかかり、感染が拡大する恐れがある。市内で検査できるように県に要望された。

答 PCR検査は、現在感度は低いものの早く結果が出る抗体検査など、新たに導入されようとしている、第2波、第3波に備えて、国、県に要望していきたい。

一般質問

学校再編計画(案)策定の基本方針は



未来おおの
まつた もとえ
松田 元栄 議員



学校数、再編時期、再編方法について、現計画策定に至る議論を踏まえ、前年度の取り組み成果を十分に生かす

問 第六次大野市総合計画基本構想について、新型コロナウイルス禍の中で、このことに基本構想で触れていないのはなぜか。

答 基本構想(案)の中では明記していないが、本年度策定に取り組む前期基本計画の中に盛り込んでいく。感染症への対応だけでなく、生活や働き方、産業、観光などさまざまな分野で、社会の変化に対応できる施策を考へていく必要がある。専門部会の中で話し合っていく。

問 学校再編計画(案)の策定について、5月定例の教育委員会で決定した学校再編検討に向けた基本方針はどのような内容なのか。

答 現計画における学校数、再編時期、再編方法について、現計画策定に至る議論を踏まえ、前年度に行った取り組みの成果を十分に生かす。小学校については地域の温かい見守りの中で育てることや、登下校や放課後の子どもの居場所など保護者の不安に寄り添うことを基本にし、複式学級を解消し、通常の学級編成を実現することとする。

中学校については大野市全体で育てることを基本に、より広い世界で生きる力と社会性を育てることや、全ての教科で専門教科教員を配置し、知的にも、情操的にもバランスの取れた教育を保障できる環境を整える。

小中学校とも、校舎の現状や地域の状況なども十分に勘案し、総合的に検討する。

感染症に対する市長の考え方は



変えられるものは変えて、 みんなで乗り切っていきたい

新風会・公明
はやし
より かず
順和
議員



問 政治は結果責任。不安に寄り添いスピード感を持った対応、対策本部である市長のリーダーシップが求められるが、感染症に対する考え方は、

答 感染症対策の基本は、一人一人が行う感染予防や保健衛生。国などの支援策も利用して、変えられるものは変えて、力を出し合うことをお願いし、この難局をみんなで乗り切っていきたい。

問 感染症対策における財政面の影響は、

答 段階的に施設を再開したが、利用者を県民に限っていることや、都道府県をまたぐ移動を避ける傾向が続くことで、使用料収入の減収が危惧される。個人所得の減少、法人の減益、消費の減退など多岐にわたり、歳入の影響は令和3年度以降も続く。財政調整基金は、元年度末で約16億4千万円だったが、予算ベースで7億8千万円まで減少する見込み。

問 今後の対策に、地域振興基金の活用は、

答 基金の設置目的は非常に幅広く、商工業の振興など充当を検討する。

問 危機的状況で市内でお金が回っていない。全庁で財源捻出を考えるべき。

答 来年度以降、歳入が見込みにくい中、実施ができない事業は削減していく必要がある一方、市の事業は前倒しの声もあり、慎重に判断する。

問 事業所から幾つか出された提案が理解されなかったと聞いている。受け入れる方向で、対策本部で練るべき。

答 クラウドファンディングの話はあったが、地域振興券をそのまま使っているのか法的な面も考慮して、PRには協力すると回答した。

新型コロナウイルスから 子ども、教職員をどう守るのか



小中学校とも消毒・マスク着用・3密の解消を徹底

日本共産党大野市議団
さかえ
まさ お
正夫
議員



問 コロナ禍の子どもアンケートによると、困りごととして、友達に会えないが76割、学校に行けないが64割、外で遊べないが51割、勉強が心配が50割、その外にもいろいろある、夜眠れなくなったり、何もする気がしない等々痛切な声が記されている。子どもたちには、学年の締めくくりと新たなスタートの時期に3カ月の休校は大野市でも経験のないことで深刻な影響を与えているのではないか。

答 2月27日に国の新型コロナウイルス感染症対策本部の内閣総理大臣の要請で全国一斉の小中学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の臨時休業の要請を受け、3月2日から6月1日の学校再開までの3カ月間にのぼる休業を教育委員会と学校は、児童・生徒に与える影響を鑑みながらさまざまに対応を行ってきた。

問 子どもの学習の遅れによる不安や心身のケアには手間と時間が必要。大野市の学力テストを中止してはどうか。

答 夏休み、冬休みは短くなるが学習の遅れによる不安を取り除いたり先を見越した指導ができる。連合行事を中止し教育活動を優先して丁寧な学習指導を実施していく。

問 新型コロナウイルス感染症のパンデミックに対する子どもへの影響と国の責任をどのように考えているか。

答 3カ月間の臨時休業は、学習の遅れを生じさせている。国においてもそういった学習の遅れをどう回復していくのか、その後のケアも示すべきだと考えている。

(※) パンデミック＝世界的流行

一般質問



無党派

だにえるよしもと
ダニエル益資 議員



一般質問

13日に短縮された夏休みには宿題を出さないほうが良いのではないか

家庭と連携を図りながら規則正しい生活を送ることができるよう宿題を適切に課す必要があると考えている

問 市役所内のオンライン化、デジタル化を進め、業務の効率化と無駄の削減を図るべきだと考えるが、市長の考えは。

答 テレワークに適した業務の整理、新たな情報ネットワークの構築について検討を進め、できるものから導入したい。ペーパーレス化について、会議でのタブレット端末の活用も含めた新たなICT技術の導入など、他自治体の先進事例を検証しながら検討を進めていく。

問 新型コロナウイルスがまん延したことにより、まちなか循環バスよりもデマンド型乗り合いタクシーの方が費用対効果が良いと証明されたのではないか。

答 大野市公共交通活性化協議会で協議しながら、より利用しやすく、また

持続可能な公共交通の実現を目指して取り組んでいきたい。

問 今年の夏休みは13日ということだが、この期間は夏休みの宿題は出さないほうが良いのではないか。13日しかない夏休みに宿題を出すことによって児童・生徒の家族旅行や夏しかできない野外活動に支障を来す恐れがあると考えている。

答 学習指導要領において、確かな学力を育むためには、家庭との連携を図りながら、児童・生徒の学習習慣が確立するよう配慮することが重要視されている。そのために、家庭と連携を図りながら長期休業中に規則正しい生活を送ることができるよう宿題を適切に課す必要があると考えている。

(※1) ICT＝情報通信
(※2) デマンド型＝利用者の予約に応じる



清風会

ひろた かずのり
廣田 憲徳 議員



国勢調査における新型コロナウイルス対策について

調査員と世帯員ができる限り接触を少なくする方法により調査する

問 近年、道路の路肩や植え込み、河川や田んぼへのごみのポイ捨てが増えていると感じているが、対策について聞きたい。

答 環境監視員の方々に不法投棄現場の発見情報に加え、不法投棄が疑われる不審な車両に関する情報などもご報告いただくことをお願いするとともに、ポイ捨てが頻発する場所には監視カメラを設置するなど不法投棄防止に向けた監視を強化し地域環境の美化推進に努めていく。

問 新型コロナウイルス感染症に関し、生活排水による感染拡大や風評被害があるのか聞きたい。

答 新型コロナウイルス感染者の排せつ物を含む下水中には、新型コロナウイルスが含まれていることが明らかとなっているが、現時点では、生活排水による感染拡大や風評被害などの報告は受けていない。

今後感染対策を継続し市民の快適な生活環境を維持するとともに、公共用水域の水質保全に努めながら下水道施設に関する風評被害が起らないよう適正な運転管理を努めていく。

問 国勢調査における新型コロナウイルス対策について聞きたい。

答 基本的には、調査員と世帯員ができる限り接触を少なくする方法により調査することとしている。

具体的には、インターホンを活用した調査説明、調査書類のポストイン、簡潔な説明、再訪問の回数削減などに努めることとしている。

在宅医療在宅介護を受ける高齢者の現状と課題は



一人暮らしの高齢者のみの世帯が増えている。
在宅医療が必要な高齢者の増加が課題

新風会・公明

伊東由起恵 議員



問 当市における介護施設の入所者、在宅医療在宅介護を受ける高齢者、それぞれの現状と課題は何か。

答 市内には特別養護老人ホームが5カ所、小規模特別養護老人ホームが3カ所ある。いずれの施設も定員に達しており、常に入所待ちの方がいる状況となっている。在宅医療や介護が必要な高齢者や一人暮らし高齢者のみの世帯が増えていることから、これまで以上に医療と介護の連携を進めていく必要がある。特に医療依存度が高い状態で退院し在宅医療が必要な高齢者の増加が課題となっている。

問 通院や買い物など、公的な介護保険サービスではカバーできないことに対して、どのような対応を考えているか。

答 地域で、どんな生活支援が必要か、例えば家事援助やゴミ出しなど、各地区の協議体で話し合いをしていただき、それに向けた取り組みを進めている。

問 新型コロナウイルス感染症拡大に備え今後、医療機関と介護事業所などがサービスを提供していくためにどのような体制を整備していくのか。

答 今後、万が一、介護施設で感染症が発生した場合、県などの指導の下、各施設で対応することになるが、本市としても市民への周知啓発など県や介護施設と連携、協力していく。現在、マスクや消毒液の不足については解消されつつあるが、今後も医療機関や介護施設の状態を確認し、必要な支援を行う。また、施設の環境整備に係る国、県の財政支援などを必要に応じて要請していく。

令和2年5月第418回臨時会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	議員名																	
				廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提出議案	27	令和2年度大野市一般会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	1	議案第27号 令和2年度大野市一般会計補正予算（第2号）に対する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「/」で表示
議案に賛成「○」、反対「×」
退場は「退」と表示（態度保留の場合は、採決前に議場から退出する）

5月臨時会の
審議結果



令和2年6月第419回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣	木	林	ダ	白	伊	松	廣	堀	高	野	梅	永	松	川	高	畑	榮
				瀬	戸	順	ニ	崎	東	本	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
市長提出議案	28	令和2年度大野市一般会計補正予算（第4号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	29	令和2年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	令和2年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	31	大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	32	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	33	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	34	大野市子ども医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	35	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	36	大野市介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	37	大野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	38	第六次大野市総合計画基本構想について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	39	高規格救急自動車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	40	消防ポンプ自動車売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	41	専決処分の承認を求めることについて（令和元年度大野市一般会計補正予算（第5号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	42	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度大野市一般会計補正予算（第1号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	43	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度大野市一般会計補正予算（第3号））	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	44	専決処分の承認を求めることについて（大野市長等の給与に関する条例及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	専決処分の承認を求めることについて（大野市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	専決処分の承認を求めることについて（大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
市会案	2	大野市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
陳情	3	特急「サンダーバード」「しらさぎ」の存続のための協議を県に求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	／	否	否	否	賛	賛	
	4	大野地区内の行政区の見直しに関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「／」で表示
 議案に賛成「○」、反対「×」
 陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」

6月定例会の
審議結果



産経建設

(高岡委員長、林副委員長、
ダニエル、伊東、松田、川端)

中部縦貫自動車道の開通
見直しに関連する取り組み

◎委員の意見

これまで令和4年度末の県内全線開通を要望してきたが、国は4月17日に、(仮称)和泉インターチェンジまでの区間を令和4年度に開通する見通しと発表。市のさまざまな施策は、令和4年度末までの県内全線開通による人の流れをイメージしていることから、全庁的に関連する取り組みの見直しを図るべき。

関係する自治体や団体との連携を強化し、インターネットを活用して市民の声を直接伝えられるような新しい形の活動を展開されたい。

観光戦略について

◎理事者の説明

今年1月から4月までの観光入り込み客数は前年の同じ期間と比べて57・4割減少した。今年のおおの城まつりなどの集客イベントも中止になる。

◎委員の意見

新型コロナウイルス感染症の影響や、中部縦貫自動車道の県内全線開通スケジュールなど、現在の観光戦略では想定されていない課題も生じているので、早急な観光ビジョンの見直しが必要だと思われる。

新型コロナウイルス感染症の影響への対策

◎委員の意見

新型コロナウイルス感染症の影響は、あらゆる業種の事業者や市内商店街のさまざまな店舗にも及んでいる。大野商工会議所やまちづくり会社とさらに綿密な連携を図り、商店街振興に向けた支援

にも積極的に取り組まれない。

(仮称)水循環・湧水文化
再生計画の策定について

◎委員の意見

今後の本市の環境や水環境の方向性を示す、第六次大野市総合計画の「くらし環境」分野のベースは、(仮称)水循環・湧水文化再生計画や環境基本計画になるので、両計画の連携を図るべき。

◎理事者の説明

これまで環境基本計画に位置付けられていた、水に関する分野については、本年度中に策定する(仮称)水循環・湧水文化再生計画に位置付ける。

鳥獣害対策について

◎理事者の説明

最近サルやシカが多く出没しているが、引き続き猟友会の協力を得ながら捕獲に努めていく。

◎委員の意見

捕獲だけでなく、里山の工夫により動物の生息区域を山へ戻すなど、共生についても検討してはどうか。河川敷が動物の

すみかになるので、雑木の伐採や堆積土砂の除去などを県へ強く要望してもらいたい。

道の駅越前おおの荒島の
郷(さと)の開駅に向けた
取り組みについて

◎理事者の説明

令和2年9月定例会に道の駅の設置条例議案や、指定管理者の指定議案を提出する予定であり、その中で開駅の時期など詳細を説明したい。

◎委員の意見

指定管理予定者や入居予定のモンベルやテナント、産直の会などを含めた施設全体の管理運営の基本方針やデザイン、売り場の充実など、確認しておくべき点が多く残されているので、9月定例会には十分な説明をし、不安を払拭(ふっしょく)してもらいたい。

☆所管調査

10日には委員会に先立ち、市道の認定や廃止などが予定されている道路の状況を確認するため、所管調査を実施した。



所管調査 市道の状況確認

民生環境

(永田委員長、白崎副委員長、
木戸屋、松本、堀田、野村)

放課後児童クラブ事業について

◎委員の質問

児童センターに設置する冷風機はどのようなものか。また、エアコンと併用するのか。

◎理事者の回答

冷風機は、タンクに水を入れ風を送るもので、エアコンがない遊戯室に、和泉児童センターを除く各センター2台ずつ、合計8台の導入を予定して

◎委員の質問

気温が高い場合、児童センターでのマスクの着用はどうするのか。

◎理事者の回答

エアコンがある部屋では、基本的にマスク着用となるが、外で遊んだり、遊戯室などの広い場所では、間隔を空けて遊ぶときなどは、安全を確保した上で、臨機応変に対応したい。



公共下水道の管きよ整備に係る、詳細設計業務委託について

◎理事者の説明

泉町2区、3区、及び清瀧区の3地区の詳細設計業務委託に係る入札についての報告。また泉町1区での御清水周辺の汚水処理方法については、意見交換会を6月25日に開催する予定である。

◎委員の意見

泉町2区、3区及び清

瀧区の3地区における、詳細設計の実施の了解に不安を感じる。

当委員会が報告を聞いたのは、入札の通知後である。遅滞なく適切に、報告があれば、今回のように問題視する声も出なかったため、今後は厳重に注意した対応をされたい。

ごみの不法投棄について

周知啓発などで善意に訴え掛けても、無くならないため、拘束を掛ける時期にあるのではないかと

◎理事者の回答

ポイ捨てへの対策については、今年度、第三期環



ポイ捨て（不法投棄）されたごみ

境基本計画を策定する中で、より有効な方法についても検討していきたい。

◎委員の意見

環境を見守るという視点と、防災・防犯の視点から、公用車にドライブ・レコーダーを搭載する取り組みを行われたい。

新型コロナウイルス感染症について

◎理事者の説明

今後、第2波を警戒しながら、社会経済活動を行っていき新しいフェーズへ移った。

本市においても、三つの密を避ける、人と人との距離を保つ、外出時のマスクの着用など、感染防止対策を取りながら、出来ることから事業を再開していきたい。

◎委員の意見

今後もし引き続き、感染拡大の状況とともに、社会経済活動を含む国、県の動向なども、十分に注視し、適時、適切な対応により、市民の安全確保と、不安の払拭(ふっしょく)に努めていただきたい。
(※)フェーズⅡ段階

総務文教

(高田委員長、廣田副委員長、廣瀬、梅林、畑中、榮)

第六次大野市総合計画について

理事者から第六次大野市総合計画基本構想について説明を受けた。

◎委員の意見

「将来像実現のための基本目標」に人口減少対策への取り組みが明文化されてない。同時に策定する前期基本計画には明示されたい。

第六次大野市総合計画は、市民参加型の計画だと認識している。前期基本計画には市民の意見や思いに的確に答え、市民目線に立った分かりやすい計画とされたい。

文化会館整備基本設計事業について

平成31年度当初予算に計上された委託料の執行は、当委員会の承認を得て行うよう決議したことから、先の3月定例会までの間に5回説明を聞き、

委員間でも2回協議したが、建設費やランニングコストの削減について新たな変更点は示されなかった。



大野市文化会館

現在の文化会館は60年の耐用年数を迎えるため新築で建て替える必要があることは理解するが、コロナ禍がある程度おさまり、経費削減に向けて計画を見直すなどの新たな提案がなされなければ、予算執行の承認はいたしかねる。

特急「サンダーバード」

「しらすぎ」の存続のための協議を県に求める陳情

本陳情は、特急「サンダーバード」「しらすぎ」存続のため、県がJR西

日本とJR東海と協議することを求めるもの。

◎委員会の結果

「継続審査とし、今後の県やJRの動向を注視したい」との意見や、「知事も国やJRと話し合いたい」とのことなので趣旨採択とされた。最初の意見が出された。最初に継続審査を諮った結果、賛成少数で否となり、次に趣旨採択を諮った結果、賛成少数で否となり、引き続き採択を諮った結果、賛成少数で不採択と決した。

大野地区内の行政区の見直しに関する陳情

本陳情は大野地区における行政区の編成について、市と大野地区区長会とが協議し、適切な規模の行政区に再編成することを求めるもの。

◎委員会の結果

委員からは、「行政区再編の基本は住民の合意である。住民の意見を尊重し、市が協力する」とのことならば採択する」との意見や、「陳情の趣旨には賛成できる」などの意見が出された。まず趣旨

採択を諮った結果、賛成少数で否となり、引き続き採択を諮った結果、全会一致で採択と決した。

ただし行政区の再編は市が主導するものではなく、あくまでも地元の合意形成が基本である。

理事者は合意形成のための側面支援をされたい。

特別委員会報告

▼人口減少対策

(伊東委員長、林副委員長、ダニエル、堀田、高田、永田、松田、榮)

放課後の子どもにより良い居場所づくりについて

◎理事者の説明

4月以降に関係課による協議を開始した。放課後子ども教室、放課後児童クラブそれぞれの受け入れ状況などを確認しながら、市全体の子どもの放課後の居場所づくりについて課題を整理し、引き続き協議していきたい。

新型コロナウイルス感染症の影響で、今年は夏

休み期間が変更になるが、しっかりと対応していく。

◎委員の意見

放課後の子どもの居場所については、地域ごとの事情や新型コロナウイルス感染症への対応など、さまざまな課題について十分な協議を行い、保護者の気持ちにしっかりと寄り添うような方策を模索されたい。放課後子ども教室や放課後児童クラブの運営について、施設の暑さ対策や新型コロナウイルス感染症対策を十分に、職員の感染防止対策も具体的に検討してもらいたい。

取り組みは重要であるので、スポーツ推進計画策定委員会の公募委員をはじめ、スポーツ活動に関わる指導者や保護者などの現場の声を十分に聞き、スポーツ人口の増加機運を高めてもらいたい。

◎理事者の説明

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校再開が遅れ、1年生が部活動に合流するのが6月下旬から7月にかけてとなる。まずは1年生が部活動に慣れることを優先したい。また県や奥越地区の中体連の夏季大会はいずれも中止となっている。

◎委員の意見

中学校の3年間という短い期間を考えると、新型コロナウイルス感染症防止対策が求められる中でも、最終学年となる3年生が、真剣勝負の試合をし、実績を残したいという思いに配慮して、われわれ大人がそのチャンスを作るのが重要である。

◎理事者の説明

改訂に当たり、スポーツエリートの人輩出といった視点での競技スポーツの底辺拡大もあるが、生涯スポーツの推進と健康づくりといった視点での、年代や目的に応じたさまざまなスポーツの形についても考えていきたい。

◎委員の意見

年代や目的に応じた取

り組みは重要であるので、スポーツ推進計画策定委員会の公募委員をはじめ、スポーツ活動に関わる指導者や保護者などの現場の声を十分に聞き、スポーツ人口の増加機運を高めてもらいたい。

◎委員の意見

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で学校再開が遅れ、1年生が部活動に合流するのが6月下旬から7月にかけてとなる。まずは1年生が部活動に慣れることを優先したい。また県や奥越地区の中体連の夏季大会はいずれも中止となっている。

◎委員の意見

中学校の3年間という短い期間を考えると、新型コロナウイルス感染症防止対策が求められる中でも、最終学年となる3年生が、真剣勝負の試合をし、実績を残したいという思いに配慮して、われわれ大人がそのチャンスを作るのが重要である。

◎委員の意見

中学校の3年間という短い期間を考えると、新型コロナウイルス感染症防止対策が求められる中でも、最終学年となる3年生が、真剣勝負の試合をし、実績を残したいという思いに配慮して、われわれ大人がそのチャンスを作るのが重要である。

◎委員の意見

中学校の3年間という短い期間を考えると、新型コロナウイルス感染症防止対策が求められる中でも、最終学年となる3年生が、真剣勝負の試合をし、実績を残したいという思いに配慮して、われわれ大人がそのチャンスを作るのが重要である。

◎委員の意見

中学校の3年間という短い期間を考えると、新型コロナウイルス感染症防止対策が求められる中でも、最終学年となる3年生が、真剣勝負の試合をし、実績を残したいという思いに配慮して、われわれ大人がそのチャンスを作るのが重要である。

制について

◎委員の質問

コロナ禍の中での教育委員会と学校、学校と保護者との連絡体制はどうなっているのか。

◎理事者の回答

教育委員会と学校との連絡体制については、定期的な校長会だけでなく、臨時の校長会を幾度となく開催し、連絡を密にし、常に情報を共有している。また学校から保護者への連絡については、緊急メールを活用して早く伝え、文書により詳細に伝えられている。

夏休み期間中に実施が予定されていた事業について

◎委員の質問

新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった事業を含め、15事業の参加対象者や参加者の募集手法などについて理事者から説明を受けた。

◎委員の質問

学校を通じて参加者を募集する事業は、子どもや保護者が全体の事業の中から選択して申し込みができ、学校側にも過度

な負担を掛けないように関係課同士の連携を図った上で学校に依頼してはどうか。

◎理事者の回答

今後は夏休み期間中の事業を一度にまとめて案内できるようにしていきたい。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長、廣瀬副委員長、木戸屋、白崎、松本、廣田、野村、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗(じゅんちやく)状況等について

大野・大野東区間の真名川橋の橋脚工や、県道五条方松原出勝山線と交差する七板橋の橋台工などの工事に着手すること。

◎委員の質問

大野東・和泉区間の荒島第一トンネル全長2561mのうち、2183mを掘り進み、5月末現在の掘削進捗率は約85%とのこと。

◎委員の意見

工事に伴い仮設となった農地の用排水路について、道路工事の進捗と合

わせて農作業等にも支障のないよう対応されたい。

道の駅越前おおの荒島の郷(さと)整備の推進について

建物の鉄骨組み立てをほぼ終え、6月から設備工事を本格化し、年度内の完了を目指すとのこと。

◎委員の質問

4000アイテムもの商品をそろえるとのことだが、先の3月定例会でも伝えたと市内にこだわらずに商品を充実させることの検討はされたのか。

◎理事者の回答

魅力ある売り場となるよう、市外・県外も含めて広く商品をそろえたい。

産業団地の整備など積極的な企業誘致による雇用の促進策について

産業団地の整備など積極的な企業誘致による雇用の促進策について

産業団地の整備については、南側の区画部分の造成が完了し、5月1日から先行して分譲を開始したとのこと。残る北側の区画部分については、年度内には完了させ、令和3年度に全区画を分譲していく予定とのこと。

◎委員の質問

大野市富田産業団地の魅力として、どのようなところをPRしているのか。

◎理事者の回答

分譲価格の安さが魅力の一つである。中部縦貫自動車道の全線開通による都市圏とのアクセスの良さも、セールスポイントにして企業誘致を図っていききたい。



道の駅越前おおの荒島の郷(さと) 令和2年6月10日現在

前月号(第210号)において、記事の一部誤りがありましたので深くお詫び申し上げます。【訂正箇所】10頁「白崎貴之議員の一般質問の問、答の記事中」誤「令和2年度」正「令和元年度」

★9月定例会のお知らせ★

日程(案)	区分	審議等の内容
8月31日	月	本会議 議案上程、提案理由説明
9月7日	月	本会議 一般質問
8日	火	本会議 一般質問、決算特別委員会の設置及び委員の選任、請願・陳情上程
9日	水	委員会 10:00 産経建設常任委員会
10日	木	委員会 10:00 民生環境常任委員会
11日	金	委員会 10:00 総務文教常任委員会
14日	月	委員会 10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
17日	木	本会議 各委員長報告、質疑、討論、採決

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴席（R階）にお入りください。次回、9月定例会の予定は左のとおりです。

※予定のため変更になる場合があります。
※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。
詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。（☎0779-64-4830）

大野市議会 災害対応連絡会議

新型コロナウイルス感染症拡大による非常事態を受け、大野市議会ではこのような事態や災害発生時に、議会が大野市災害対策本部（理事者の本部）と連携を図り、迅速かつ適切に対応するため災害対応連絡会議を設置いたしました。

会議のメンバーは議長、副議長並びに議会運営委員会委員及び各常任委員会の委員長で構成しており、これまでに、5月1日、8日、19日、6月9日、7月9日の5回開催しております。この難局を市民の皆さまとともに、力を合わせて乗り越えていきたいと思っております。

★政務活動費の半額削減を可決★

市会案（議員が提出する議案）として提出された「大野市議会議員に対する政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例案」を可決しました。

大野市議会災害対応連絡会議で協議を行った結果、新型コロナウイルス感染症対策に要する経費の財源に充当することを目的として、政務活動費の年間相当額の半額（1議員あたり24万円）を削減するための条例の一部改正案を提出し、全会一致で可決しました。

削減の合計額は432万円です。

なお、今後も災害対応連絡会議において各委員会の行政視察についても自粛する方向で協議を進めていきます。また、条例の一部改正が可決されたことに伴い、理事者に対し、新型コロナウイルス感染症対策の経費の財源に充当することを確認いたしました。

★榮 正夫議員 特別表彰★

5月27日に、榮 正夫議員が、全国市議会議長会の議員45年以上の特別表彰を受賞されました。

6月12日に梅林議長から伝達されました。



編集後記

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で国内では900人を超える尊い命が奪われました。また、各地で記録的大雨による多くの犠牲者が出ています。

亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、影響を受けた多くの方々には心よりお見舞いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言は解除されましたが、新規感染者が後を絶たず災害時を含め自分自身の命は自分で守る「自助」が重要となっています。

また、近所付き合いが疎遠になりつつある現代、地域での助け合いが災害時の「共助」につながります。感染症予防や防災について家庭や地域で今一度、「自助」「共助」について話し合いをお願いいたします。
(座長 廣田憲徳)

議会だより編集委員会

委員 廣田 憲徳

廣瀬 浩司

木戸屋八代実

野村 勝人

高岡 和行

※次回は、10月下旬の発行を予定しています。